



14

## 薬のチェック（医薬ビジランスセンター）の解析結果

- ・「タミフル使用者」は正しくは「タミフル処方群」であり、
- ・「非使用者」は「非処方群」である。
- ・受診前の異常行動発現者は、タミフル処方群にも、非処方群にもあるので、タミフル処方群からも、非処方群からも除くべき⇒これは今回、廣田班は適切に実施している。
- ・「異常行動発現後に服薬」した子は、タミフル処方群（タミフルを服薬）にも、タミフル非処方群（タミフル以外を服薬）にもいる。廣田班中間報告では、非処方群の異常行動発現後のタミフル以外の薬剤服薬者を除いていないので、タミフル処方群から、「異常行動発現後にタミフルを服薬した子」を除くべきでない。したがって、

### タミフル処方群

$$\begin{aligned} \text{分子（異常行動発症者）} & 1215 - (181+46) = 1215 - 227 = 988 \\ \text{分母} & 7813 - (181+46) = 7813 - 227 = 7586 \\ \text{異常行動発症者の割合} & = 13.0\% (988/7586*100) \end{aligned}$$

### タミフル非処方群

$$\begin{aligned} \text{分子（異常行動発症者）} & 262 - 75 = 187 \\ \text{分母} & 2204 - 75 = 2129 \\ \text{異常行動発症者の割合} & = 8.8\% (187/2129*100) \end{aligned}$$

異常行動発症のオッズ比=1.56 (95%信頼区間：1.32-1.84、p=0.0000001)

## 廣田班の解析結果

- ・ところが、廣田班では、「異常行動発現後にタミフルを服薬した子」をタミフル群から除き、非タミフル群に入れている。これは、2007年12月25日の第一次予備解析の際の間違いと、同じ間違いである。



## 廣田班の解析結果

### タミフル群

分子 (異常行動発症者)  $1215 - 280 - 46 = 889$   
 分母  $7813 - 280 - 46 = 7487$   
 異常行動発症者の割合  $= 11.9\% (889 / 7487 * 100)$

### 非タミフル群

分子 (異常行動発症者)  $262 - 75 + (280 - 181) = 262 - 75 + 99 = 286$   
 分母  $2204 - 75 + (280 - 181) = 2204 - 75 + 99 = 2228$   
 異常行動発症者の割合  $= 12.8\% (286 / 2228 * 100)$